

は　じ　め　に



うるま市長
島袋俊夫

うるま市には、行政面積の約7.7%を占める米軍及び自衛隊基地が所在し、まちづくりの阻害要因のひとつになっていますが、基地から発生する事件・事故等も多く、市民の生活環境に及ぼす影響も少なくありません。

キャンプ・コートニーの海兵隊司令部や海兵隊員等のグアム移転が平成18年5月に日米合意され、その確実な実施により基地負担の軽減が図られることを望むものでありますが、嘉手納飛行場を離発着する戦闘機による航空機騒音や墜落の不安、その直下にある陸軍貯油施設の危機管理の問題及びホワイトビーチへの原子力潜水艦の寄港回数の増加、放射能漏れへの不安など、多くの課題を抱えている現状にあります。

基地問題については、これまで市民の生命、財産及び安全な生活環境を確保するため、国や米軍等に対し十分な対応を求めてまいりましたが、日米地位協定等国の安全保障が絡み、抜本的な問題解決には至っておりません。

今後とも、市民の皆様をはじめ、市議会の意見等を拝聴しながら、関係機関と連携して対処してまいりたいと考えているところであります。

本書は、本市に所在する基地の変遷、基地の現況及び市の取り組み等についてまとめたものでありますが、本市における基地の現状等を理解する一助になれば幸いです。

内容については、資料の入手の難しさから不十分な点もあろうかと存じますが、今後とも、改善に努めてまいりますので、関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

発刊に際し、ご指導、ご協力を賜りました関係各位に心から感謝を申し上げます。

平成22年3月